



第41回会合における構成員からの主なご意見

2023年3月9日
事務局

<p>ヤフー株式会社及びLINE株式会社の発表について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特にニュース関係は、メディアとしての責任も前面に打ち出して、それに合わせて様々な施策を実施しており、リテラシーが高まらないことには、ということで進められていることを非常に心強く思う。一方で、リテラシー教育について、どうしても子供や学生に寄り過ぎているのが少し気になっている。フェイクニュースで大きな問題になる場合は、社会人や主婦、比較的高齢者の方のほうが大きな問題になることが多いと思うので、デジタル・シチズンシップという考え方も出てきているので、今後は、単独の事業者だけでは難しいと思うので、政府の研究会も含めて、対策を考えていく必要があると思う。【寺田構成員】 ■ いずれの社も、非常に充実した対策をしており、特に啓発に関し、様々な角度から、複合的な対策しか方法がないと思うが、正面からしっかり取り組んでいただいていると思う。【森構成員】
<p>LINE株式会社の発表について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育については、効果がどの程度必要かというのは非常に重要であり、今、消費者庁においても、消費者教育などでKPIを必ず定めるようにということもあるので、ぜひこの方向で調査し、御報告をいただければと思う。【木村構成員】
<p>Google LLCの発表について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 説明資料中13ページに記載の、Threat Analysis GroupのdisinformationやInfluence Operationsに関する積極的な情報提供は、日本の一人一人のユーザーにとってもすごく有益な内容だといつも見ているので、できたらぜひ英語だけではなくて、日本語の情報発信も増やしていただけると非常によいと思う。【生貝構成員】
<p>Meta Platforms, Inc. 及び Twitter, Inc. に対して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 冒頭に穴戸先生がおっしゃいましたように、（Meta様が）このような透明化の検討会に出席いただけなかったことは残念だと思うし、またTwitter様からはシートが出ていないということで、これも残念なことだったと思う。こういうことになってくると、透明化に関する法的義務をつくるしかないのかと、これは以前から申し上げていることですが、改めて感じた。【森構成員】
<p>認定NPO法人ファクトチェックイニシアティブジャパンの発表について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 元凶をどこまで追いかけるか、その構造をどう潰してしていくのかについて、一部の報道機関でやっていると思うが、メディアだけではなく、こういった広く開かれた場所で、皆で検討していことも必要と思う。【寺田構成員】